

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 変更日 2026年7月3日（金）ご依頼分より

※KITシーケンス解析（白血病）の報告書については、2026年7月8日（水）ご報告分より変更させていただきます。

■ 変更項目

フォン・ウィルブランド因子抗原定量	骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ（TRACP-5b）
フォン・ウィルブランド因子活性（リストセチンコファクター）	ブリーバラセタム
絨毛性ゴナドトロピン（HCG）	α_1 アシドグリコプロテイン
腓骨グルカゴン	α_2 -マクログロブリン
ハプトグロビン	EZH2 遺伝子変異解析
ミオグロビン	BRAF V600 変異解析（PCR）
レニン濃度（ARC）〔CLEIA〕	EGFR変異解析 v2.0
アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比	KITシーケンス解析（白血病）
赤痢アメーバDNA 定性	病理専門医の変更



項目コード (旧項目コード)	検査項目	変更内容	新	現	備考
00763 4 (0763 1)	フォン・ウィル ブランド因子抗 原定量	項目コード (旧項目コード)	00R20 1 (OR20 3)	00763 4 (0763 1)	測定試薬変更 に伴う、項目 コード、検査 方法（方法 名）、基準 値、報告範囲 の変更 （※詳細に ついては、7 ページをご 参照くださ い）
		検査方法	ラテックス免疫比濁法	ラテックス凝集反応	
		基準値 (単位)	非O型：66~176 O型：42~141 (%)	50~155 (%)	
		報告範囲	9未満、9~999、1000以上	5以下、6~99900000	
05225 6 (5225 4)	フォン・ウィ ルブランド因 子活性（リス トセチンコフ ァクター）	項目コード (旧項目コード)	00R16 6 (OR16 1)	05225 6 (5225 4)	測定試薬変更 に伴う、項目 コード、検査 方法、基準 値、報告範囲 の変更 （※詳細に ついては、8 ページをご 参照くださ い）
		検査方法	ラテックス免疫比濁法	固定血小板凝集法	
		基準値 (単位)	非O型：61~240 O型：48~202 (%)	60~170 (%)	
		報告範囲	7未満、7~480、481以上	6以下、7~99900000	
		JLAC10 コード	2B480-0000-022-062	2B480-0000-022-316	
06144 5 (6144 6)	絨毛性ゴナド トロピン (HCG)	項目コード (旧項目コード)	00U99 2 (OU99 0)	06144 5 (6144 6)	測定試薬変更 に伴う、項目 コード、項目 名称、基準 値、報告範囲 の変更 （※詳細に ついては、9 ページをご 参照くださ い）
		項目名称	絨毛性ゴナドトロピン（βHCG）	絨毛性ゴナドトロピン（HCG）	
		基準値 (単位)	4.0以下（mIU/mL）	2.7以下（mIU/mL）	
		報告範囲	1.3未満、1.3~99900000	1.0以下、1.1~99900000	
05752 1 (5752 7)	睥グルカゴン	項目コード (旧項目コード)	00W00 8 (OW00 9)	05752 1 (5752 7)	測定試薬変更 に伴う、項目 コード、基準 値、報告範 囲、報告桁 数、備考欄の 変更 （※詳細に ついては、 10ページを ご参照くだ さい）
		基準値 (単位)	空腹時 8.8~45.2（pg/mL）	空腹時 5.4~55.0（pg/mL）	
		報告範囲	3.0未満、3.0~1990、2000以上	3.5未満、3.5~999999.9	
		報告桁数	有効3桁、整数6桁、小数1桁	有効7桁、整数6桁、小数1桁	
		備考欄	 指定の容器（PAP）に採血し、よく混和させ、1時間以内に低温（4℃）で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。溶血でのご依頼は避けてください。	指定の容器（PAP）に採血し、よく混和させ、低温（4℃）で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。	

項目コード (旧項目コード)	検査項目	変更内容	新	現	備考
00182 9 (0182 2)	ハプトグロビン	項目コード (旧項目コード)	00R17 5 (OR17 9)	00182 9 (0182 2)	測定試薬変更に伴う、項目コード、項目名称、検査方法、保存(安定性)検体量の変更 項目構成変更に伴う変更 (※詳細については、11ページをご参照ください)
		項目名称	ハプトグロビン(型判別)	ハプトグロビン	
		検査方法	TIA	ネフェロメトリー	
		保存 (安定性)	冷蔵(28日)	冷蔵	
		検体量	0.6mL	0.5mL	
		報告範囲 (単位)	分画子1: Hb濃度: 1未満、1~99900000 (mg/dL) 分画子2: Hb型判別: - (-)	親: ハプトグロビン: 10以下、11~99900000 (mg/dL)	
		JLAC10 コード	5C040-0000-023-061	5C040-0000-023-063	
00901 0 (0901 1)	ミオグロビン	項目コード (旧項目コード)	00W02 6 (OW02 3)	00901 0 (0901 1)	測定試薬変更に伴う、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲、報告桁数の変更 (※詳細については、12ページをご参照ください)
		検査方法	CLEIA	CLIA	
		基準値 (単位)	男性: 15.8~105.9 女性: 10.5~70.0 (ng/mL)	男性: 154.9以下 女性: 106.0以下 (ng/mL)	
		報告範囲	2.0未満、2.0~1999000、 2000000以上	1.0未満、1.0~99990000	
		報告桁数	有効4桁、整数7桁、小数1桁	有効4桁、整数8桁、小数1桁	
		JLAC10 コード	5C090-0000-023-052	5C090-0000-023-051	
06961 8 (6961 4)	レニン濃度 (ARC) 〔CLEIA〕	材料	血漿、血清	血漿	有効材料(血清)の追加 検査方法、保存(安定性)は代表材料と同じです 代表材料(血漿)に変更はありません
		基準値 (単位)	血漿: 変更はありません 血清: 2.21~39.5 (pg/mL)	血漿: 2.21~39.5 (pg/mL)	
		採取容器	血漿: 変更はありません 血清: S09、S06	血漿: PN2、PN5 (IBC)	
		提出容器	血漿: 変更はありません 血清: A00 (IBX)	血漿: A00 (IBX)	
		JLAC10 コード	血漿: 変更はありません 血清: 4Z020-0000-023-052	血漿: 4Z020-0000-022-052	
00G06 8 (0G06 2)	アルドステロン〔CLEIA〕/ レニン濃度比	材料	血漿、血清	血漿	有効材料(血清)の追加 検査方法、保存(安定性)は代表材料と同じです 代表材料(血漿)に変更はありません
		基準値 (単位)	アルドステロン (CLEIA) 血漿: 変更はありません 血清: 4.0~82.1 (pg/mL) レニン濃度 (CLEIA) 血漿: 変更はありません 血清: 2.21~39.5 (pg/mL) アルドステロン (C) /レニン濃度比 血漿: 変更はありません 血清: 20未満	アルドステロン (CLEIA) 血漿: 4.0~82.1 (pg/mL) レニン濃度 (CLEIA) 血漿: 2.21~39.5 (pg/mL) アルドステロン (C) /レニン濃度比 血漿: 20未満	
		採取容器	血漿: 変更はありません 血清: S09、S06	血漿: PN2、PN5 (IBC)	
		提出容器	血漿: 変更はありません 血清: A00 (IBX)	血漿: A00 (IBX)	
		JLAC10 コード	血漿: 変更はありません 血清: 4D122-0000-023-919	血漿: 4D122-0000-022-919	

項目コード (旧項目コード)	検査項目	変更内容	新	現	備考
06962 7 (6962 1)	赤痢アメーバ DNA 定性	材料	糞便、膿	糞便	有効材料 (膿)の 追加 検査方法は 代表材料と 同じです 代表材料 (糞便)に 変更はあり ません
		基準値	糞便：変更はありません 膿：陰性	糞便：陰性	
		検体量	糞便：変更はありません 膿：0.7mL	糞便：0.5g	
		保存 (安定性)	糞便：変更はありません 膿：凍結(28日)	糞便：凍結	
		採取容器	糞便：変更はありません 膿：ARR (IB r)	糞便：FOO (IB U)	
		提出容器	糞便：変更はありません 膿：ARR (IB r)	糞便：FOO (IB U)	
		JLAC10 コード	糞便：変更はありません 膿：6B637-0000-086-851	糞便：6B637-0000-015-851	
06232 7 (6232 0)	骨型酒石酸抵抗 性酸性フォス ファターゼ (TRACP-5b)	基準値 (単位)	男性 変更はありません 女性 閉経前 120~420 閉経後 250~770 (mU/dL)	男性 170~590 女性 (YAM) 120~420 (mU/dL)	ガイドライ ンに従った 試薬添付文 書記載の基 準値変更 に伴う変更
00W51 2 (0W51 3)	フリーバラセ タム	所要日数 (日)	3~5	3~9	所要日数の 変更
00175 7 (0175 9)	α 1アシドグリ コブロテイン		2~5	2~4	
00176 6 (0176 6)	α 2-マクログ ロブリン		2~5	2~4	
00D03 4 (00D03 2)	EZH2遺伝子変 異解析	案内書 容器の取り 扱い方法 備考欄	●未染標本スライドについて ・・・12カ月以内に作製したホルマ リン固定パラフィン包埋 (FFPE) ブ ロックより指定の厚さにて連続切片を 作製し、薄切後 60 日以内にご提出く ださい。・・・	●未染標本スライドについて ・・・ご提出の際には、可能な限り 3年以内に作製したホルマリン固定 パラフィン包埋 (FFPE) ブロック より、指定の厚さにて連続切片を作 製してください。・・・	試薬添付文 書に合わせ た内容に案 内書「容器 の取り扱い 方法」備考 を変更
06520 7 (6520 1)	BRAF V600 変異解析 (PCR)				
06582 9 (6582 8)	EGFR変異解析 v2.0				
06305 6 (6305 9)	KITシーケンス 解析 (白血病)	項目名称 (案内書)	KITシーケンス解析 (AML/SM)	KITシーケンス解析 (白血病)	項目名称と 臨床意義の 変更
		項目名称 (報告書)			

項目コード (旧項目コード)	検査項目	変更内容	新	現	備考
		案内書の 臨床意義	<p>国内ではt(8 ; 21)(q22 ; q22)や inv(16)(p13.1q22) またはt(16 ; 16)(p13.1 ; q22)染色体異常を有するAML (CBF-AMLと呼ばれる) の25~30%を占めるとの報告があります。</p> <p>t(8 ; 21)(q22;q22.1)を有する急性骨髄性白血病 (AML) は予後良好とされていますが、その中でもKIT遺伝子変異陽性症例では予後不良であることが示唆されています。</p> <p>また、KIT遺伝子変異のうち、exon17領域のD816V変異は活性型変異として全身性肥満細胞症 (Systemic Mastocytosis : SM) の多くで認められることが報告されており、近年では治療標的としても注目されています。</p> <p>本検査はAML、SMにおいて特に重要なKIT遺伝子のexon8、10、11、17を解析する検査です。</p>	<p>t(8 ; 21)(q22;q22.1)を有するAMLは予後良好とされるが、その中の20~25%のKIT遺伝子変異を認める症例では予後不良であることが示唆されている。また、CML治療薬として知られているイマチニブ (商品名：グリベック) はKIT阻害剤でもあり、KIT遺伝子変異を有するAMLにおいて治療への応用も期待されている。</p>	—

● 病理専門医の変更

病理専門医の変更に伴い、下記項目の「分画子：病理専門医によるレビュー」または「分画子：医師による判定」の病理専門医名が変更となります。

項目コード (旧項目コード)	検査項目	項目コード (旧項目コード)	検査項目
00A08 2 (0A08 4)	エストロゲンレセプター (IHC)	00H28 3 (0H28 1)	大腸癌 <i>HER2</i> 遺伝子 (FISH)
00A12 7 (0A12 6)	プロゲステロンレセプター (IHC)	00M92 7 (0M92 7)	食道癌 PD-L1 タンパク (IHC) 28-8
00A16 3 (0A16 5)	エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	06269 7 (6269 7)	肺癌 PD-L1 タンパク (IHC) 22C3
00Q91 4 (0Q91 9)	乳癌 <i>HER2</i> タンパク (IHC) 4B5	06198 6 (6198 2)	肺癌 PD-L1 タンパク (IHC) 28-8
00A28 0 (0A28 5)	乳癌 <i>HER2</i> 遺伝子 (FISH)	02918 0 (2918 1)	肺癌 PD-L1 タンパク (IHC) SP142
0R620 5 (R620 4)	乳癌 PD-L1 タンパク (IHC) SP142	03981 9 (3981 0)	肺癌 PD-L1 タンパク (IHC) SP263
00Y66 4 (0Y66 6)	胃癌 <i>HER2</i> 遺伝子 (FISH)	06839 4 (6839 2)	肺癌 ALK タンパク (IHC) D5F3
06177 9 (6177 4)	胃癌 <i>HER2</i> タンパク (IHC)	05751 2 (5751 0)	頭頸部癌 PD-L1 タンパク (IHC) 28-8
00W27 9 (0W27 1)	CLDN18 タンパク (IHC)	00X54 8 (0X54 1)	<i>FGFR2</i> 融合遺伝子 (FISH)
00H24 7 (0H24 2)	大腸癌 <i>HER2</i> タンパク (IHC)	00M84 6 (0M84 6)	MMR タンパク (IHC)

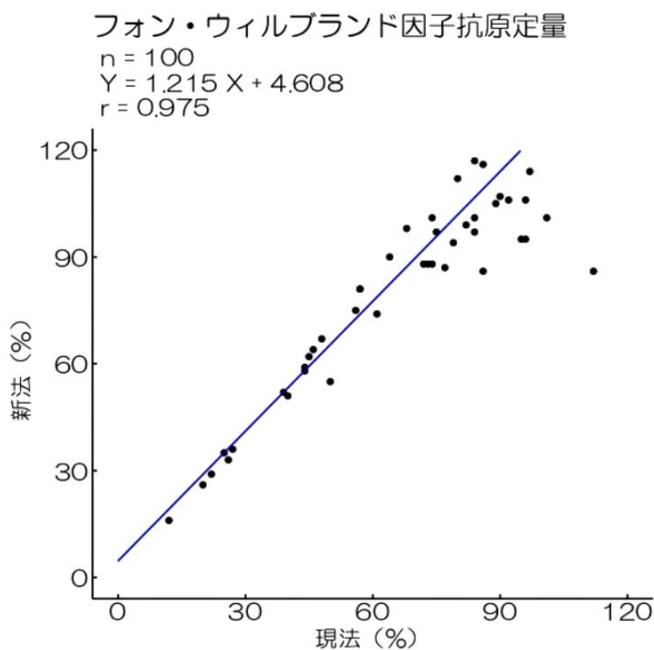
● フォン・ウィルブランド因子抗原定量

試薬販売終了のため測定試薬を変更します。
これに伴い、検査方法名、基準値、報告範囲が変更となります。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目名称	変更はありません	フォン・ウィルブランド因子抗原定量
項目コード (旧項目コード)	OOR20 1 (OR20 3)	O0763 4 (O763 1)
検査方法	ラテックス免疫比濁法	ラテックス凝集反応
基準値 (単位)	非O型：66~176 O型：42~141 (%)	50~155 (%)
報告範囲	9未満、9~999、1000以上	5以下、6~99900000
報告桁数	変更はありません	有効3桁、整数8桁、小数0桁
検体量 (mL)	変更はありません	0.2
JLAC10コード	変更はありません	2B450-0000-022-062

● 相関図



● 参考文献

測定法：Stufano F. et al：Haemophilia 20 (1)：147~153, 2014.

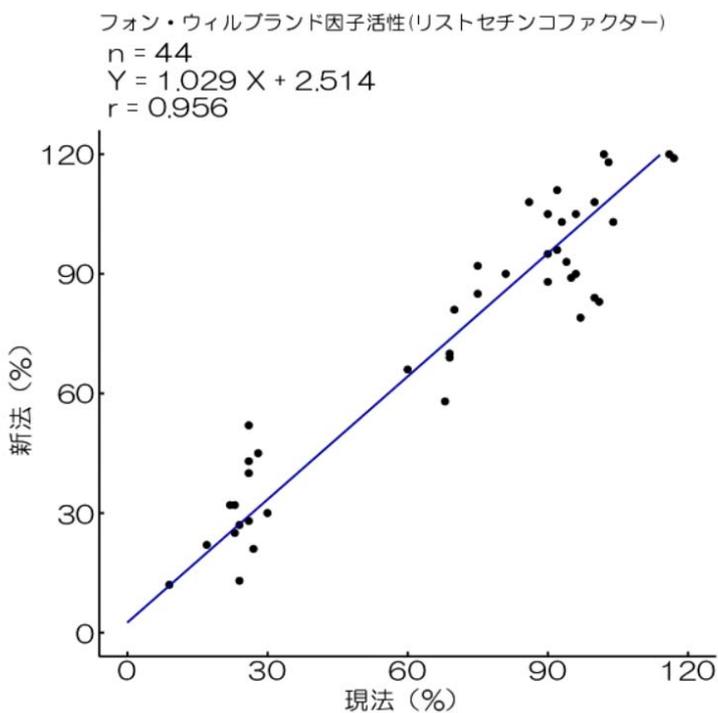
● フォン・ウィルブランド因子活性（リストセチンコファクター）

感受性が改善される測定試薬に変更します。これに伴い検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目名称	変更はありません	フォン・ウィルブランド因子活性（リストセチンコファクター）
項目コード (旧項目コード)	OOR16 6 (OR16 1)	O5225 6 (5225 4)
検査方法	ラテックス免疫比濁法	固定血小板凝集法
基準値（単位）	非O型：61～240 O型：48～202 (%)	60～170 (%)
報告範囲	7未満、7～480、481以上	6以下、7～99900000
報告桁数	変更はありません	有効3桁、整数8桁、小数0桁
検体量（mL）	変更はありません	0.5
JLAC10コード	2B480-0000-022-062	2B480-0000-022-316

● 相関図



● 参考文献

測定法：Stufano F. et al：Haemophilia 20（1）：147～153, 2014.

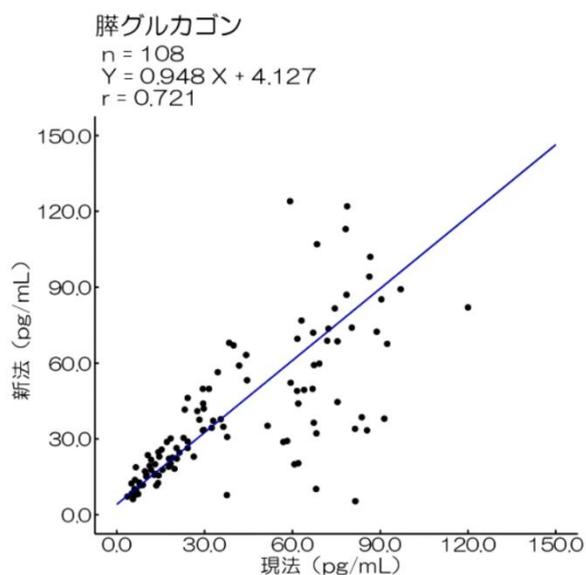
●膵グルカゴン

試薬販売終了のため、測定試薬を後継品に変更します。これに伴い、基準値、報告範囲、報告桁数が変更となります。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目名称	変更はありません	膵グルカゴン
項目コード (旧項目コード)	00W00 8 (0W00 9)	05752 1 (5752 7)
検査方法	変更はありません	ELISA
基準値 (単位)	空腹時 8.8~45.2 (pg/mL)	空腹時 5.4~55.0 (pg/mL)
報告範囲	3.0未満、 3.0~1990、2000以上	3.5未満、3.5~999999.9
報告桁数	有効3桁、整数6桁、小数1桁	有効7桁、整数6桁、小数1桁
検体量 (mL)	変更はありません	0.5
JLAC10コード	変更はありません	4G030-0000-022-023
備考欄	<p>重 溶</p> <p>指定の容器 (PAP) に採血し、よく混和させ、<u>1時間以内に低温 (4℃) で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。溶血でのご依頼は避けてください。</u></p>	指定の容器 (PAP) に採血し、よく混和させ、低温 (4℃) で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。

●相関図



●参考文献

測定法：北村 忠弘, 他：医学と薬学 82 (4) : 229~239, 2025.

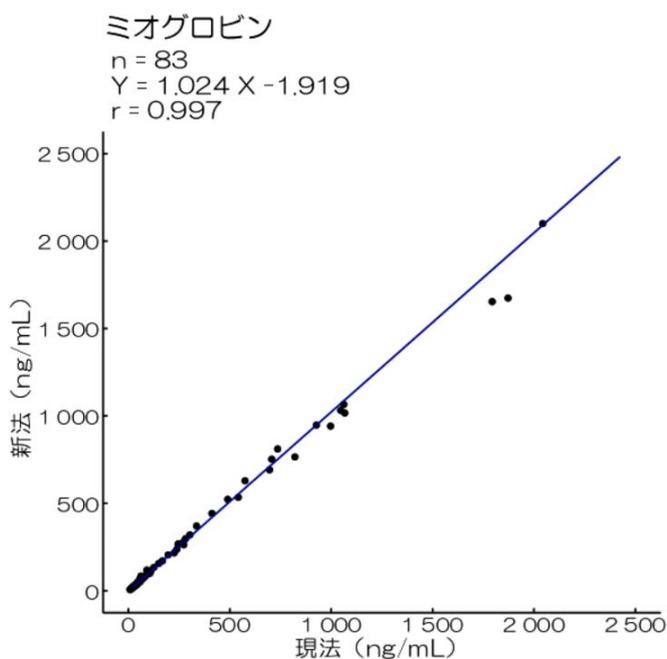
●ミオグロビン

関連の良い測定試薬に変更します。これに伴い、測定方法、基準値、報告範囲、報告桁数が変更になります。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目名称	変更はありません	ミオグロビン
項目コード (旧項目コード)	00W02 6 (0W02 3)	00901 0 (0901 1)
検査方法	CLEIA	CLIA
基準値 (単位)	男性15.8~105.9 女性10.5~70.0 (ng/mL)	男性154.9以下 女性106.0以下 (ng/mL)
報告範囲	2.0未満、2.0~1999000、 2000000以上	1.0未満、1.0~99990000
報告桁数	有効4桁、 <u>整数</u> 7桁、小数1桁	有効4桁、 <u>整数</u> 8桁、小数1桁
検体量 (mL)	変更はありません	0.5
JLAC10コード	5C090-0000-023-052	5C090-0000-023-051

●相関図



●参考文献

測定法：該当文献はありません